

BADUI診療所

カルテ：
トイレのオカルト？

ここは、とある町にある一風変わった診療所。悩みを抱えたユーザインタフェースたちがやってきます。Dr. ナカムラと一緒に病気を治してあげましょう。さて、今日の患者さんたちはどのような悩みを抱えているのでしょうか・・・

Dr. N 「次の方どうぞ～」

患者 A 「おはようございます。私は、とあるビルの個室トイレです。赤ちゃん連れの方に安心してトイレを使って頂けるように、最近ベビーチェアを設置して貰ったのですが、なぜかいつも親御さんがパニックに陥ってしまうんです。ネットではオカルトトイレとか言われる始末で困っています」

Dr. N 「うーん、トイレのオカルトって花子さんとかそんなのですか？オカルトは私の専門外なんですけど…まずは診せて頂けますか？」

患者 A 「はいどうぞ (図1)」



図1 ベビーチェア付きのトイレ。
勝手にドアが開いてしまうらしいが…

Dr. N 「ちょっと狭いようですが、椅子自体は壁にしっかりと固定されていますし、安全性には問題なさそうなんですけど、一体何が起きるんですか？」

患者 A 「何でも、親御さんが用を足している時に突然ドアが開いてしまうとか…」

Dr. N 「確かにオカルトっぽいですね。そんな状態では安心して使えないでしょう。えっと、ドアの開閉はこのボタンで行うわけですね (図1左)？」

患者 A 「はい、そうなります」

Dr. N 「なるほど。これはオカルトでも何でもありませんよ。実際にベビーチェアに赤ちゃんを座らせてみるとすぐにわかります。ちょうど娘が遊びに来ているので、座ってもらいましょう。何が起きるか、見ていてくださいね (図2)」



図2 ちょうど手が届く場所にボタンがある

患者 A 「何と！オカルトの原因は赤ちゃんでしたか」

Dr. N 「ちょうどベビーチェアに座った子供の手が届く位置にボタンが来てしまうんですね。特に乳幼児は身の回りのボタンなどに強く興味を示して、片っ端からいじってしまうので、手が届く場所にボタンがあるのはまずいです。そもそも何でこんな場所にベビーチェアを設置したんですか？」

患者 A 「他に取付けられる場所が無かったんです。最初からベビーチェア付きで設計していれば良かったんですけど…」

Dr. N 「ベビーチェアなどを設置する場合、椅子だけでは無く、実際に赤ちゃんを座らせた状態で何が起きるかを考える必要があるのですが、特に後付けの場合は十分なスペースが無いことも多く難しいです。今回の場合も、ベビーチェアやボタンの位置を動かすのは難しそうですね。例えば、ベビーチェアに座った赤ちゃんが直接ボタンを押せないように、ボタンの右側にカバーを取り付けてみてはいかがでしょうか？」

患者 A 「なるほど。これでオカルトトイレと言われなくて済みそうです。ついでと云っては何ですが、私の友人も診て頂けませんか？同じように妖怪が出るトイレと言われて困っているんです」

患者 B 「おはようございます。お世話になります」

Dr. N 「はい、あなたはどうぞされましたか？」

患者 B 「私もベビーチェア付きの個室トイレなんですが、親御さんが用を足している時に、突然頭に水をかけられたり、床が水浸しになってしまう被害が発生しています。まさか水かけ妖怪なんかが憑いてたりしないですよね？」

Dr. N 「安心してください。これも妖怪の仕業では無いですよ。先ほどと同じように、ベビーチェアに座っている赤ちゃんの手の届く範囲に自動式の手洗いがあるんですね(図3)。手を近づければ勝手に水が出てきて面白いものですから、当然撒き散らして遊びますよね」

患者 B 「そうだったんですか! でもそんなの、親御さんが止めてくれれば…」



図3 自動式手洗いに赤ちゃんの手が届いてしまう

Dr. N 「親の制止でやめる子供なんて居ませんよ。むしろ親の困った顔を面白がってよりエスカレートするだけです!」

患者 B 「なんか、日々苦勞されている実感が伝わってきます。…じゃあ、どうすれば良いんでしょう?」

Dr. N 「Aさんと同じように、椅子との間にカバーをつけると使いにくくなってしまいますので、足踏み式の水栓にするのはいかがでしょうか?」

患者 B 「わかりました、直してもらいます」

Dr. N 「おだいじに… ところでこの場所少し冷んやりしますね。さっきから背筋がゾクゾクするんですが…」

患者 B 「あれ? 見えませんか? 先生の後ろに髪の長い女の人が…」

今回の症例はいかがでしたか? 読者の皆さんも、なぜこのような問題が発生したのか、どうすれば改善できるのかを考えてみてください(下のカルテに一例がありますが、もちろん答えはこれだけではありません)。なお、よりよい改善方法を思いついた方や、Dr. ナカムラに診てもらいたい患者をご存じの方は、<http://up.badui.org/> にご一報ください。



担当医: Dr. ナカムラ

BADUI 蒐集家。
日々新たなBADUIとの出会いを求め、カメラ片手に世界を飛び回る。
BADUI 図鑑「失敗から学ぶユーザインタフェース (技術評論社)」を出版。

Dr. トモクフのUIトリビア

乳幼児に限らず大人でも、半ば無意識に指先で何かをいじってしまうことがある(クリック感など、触感が気持ち良いと起こりやすい)。大手メーカーの設計者に聞いた話だが、製品の一部にわざと「いじり場所」を設けておくことで、製品への愛着を高めると同時に、耐久性が劣る他の部分への「被害」を抑えることができるらしい。

診療カルテ	
ID	BADUI-018
氏名	トイレのオカシト?
原因・主要症状・経過など	<p>2016.6.1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便器に座っている時にドアが開いてしまったりトイレ ・便器に座っている時に水の上からあびてしまうトイレ <p>原因はすべてベビーチェアに座った子ども!!</p> <p>ベビーチェアとドアの開閉ボタン、自動式手洗いが近くにあるため子どもがイタズラ!!</p> <p>↳ カバーを付ける、操作方法を変えるなどで対応する。</p> <p>ベビーチェア設置時には子どもに協力してもらうこと!!!</p> <p>中村 聡史(明治大学)</p>
処方・手術・処置など	<p>ベビーチェアから操作できないようにする!!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドアの開閉ボタンにカバーを付ける ・足踏むことで水が出るタイプに変更する